

2025
2 月号

研究 | IRレポート

Tokai University
Institutional Research
Report



他大学と比較した東海大学の強みの分析



宛先

東海大学URAオフィス
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
担当：山田実俊、荒砂茜
Email: ura-tokai@tokai.ac.jp

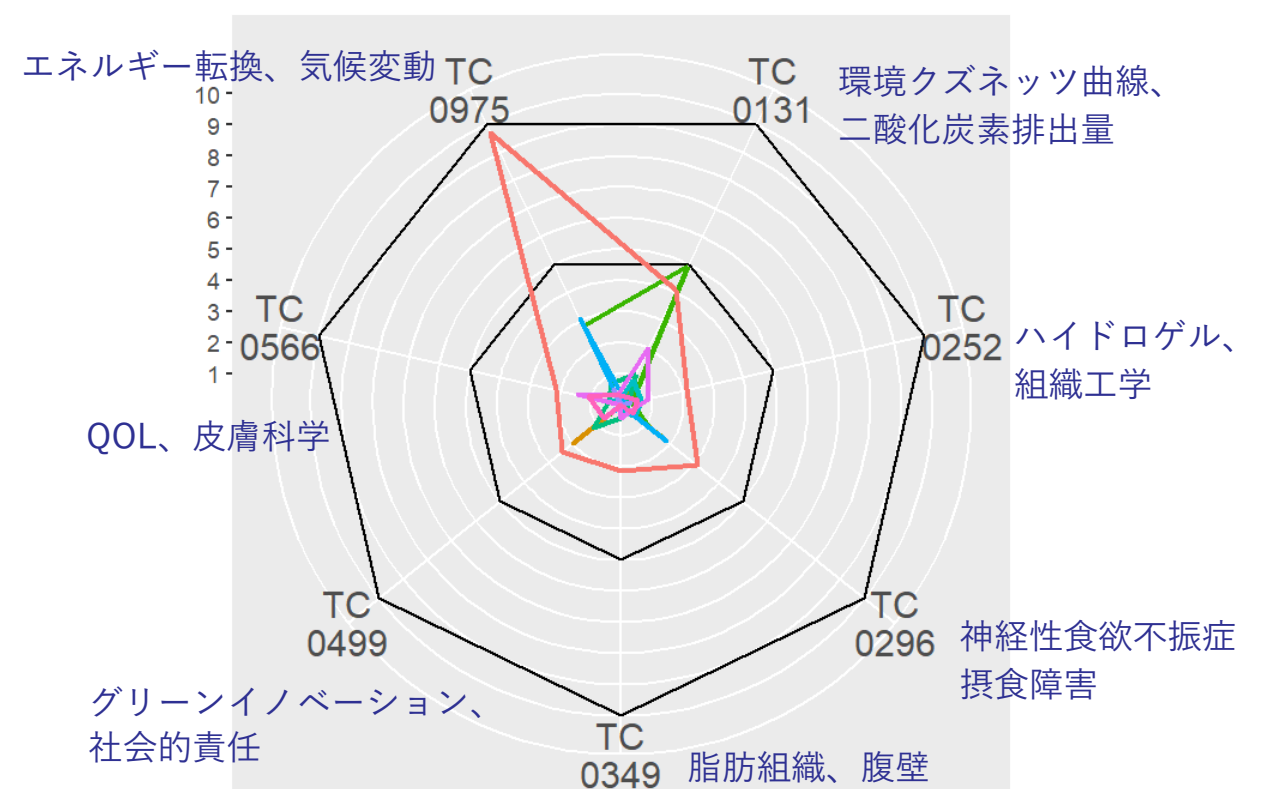
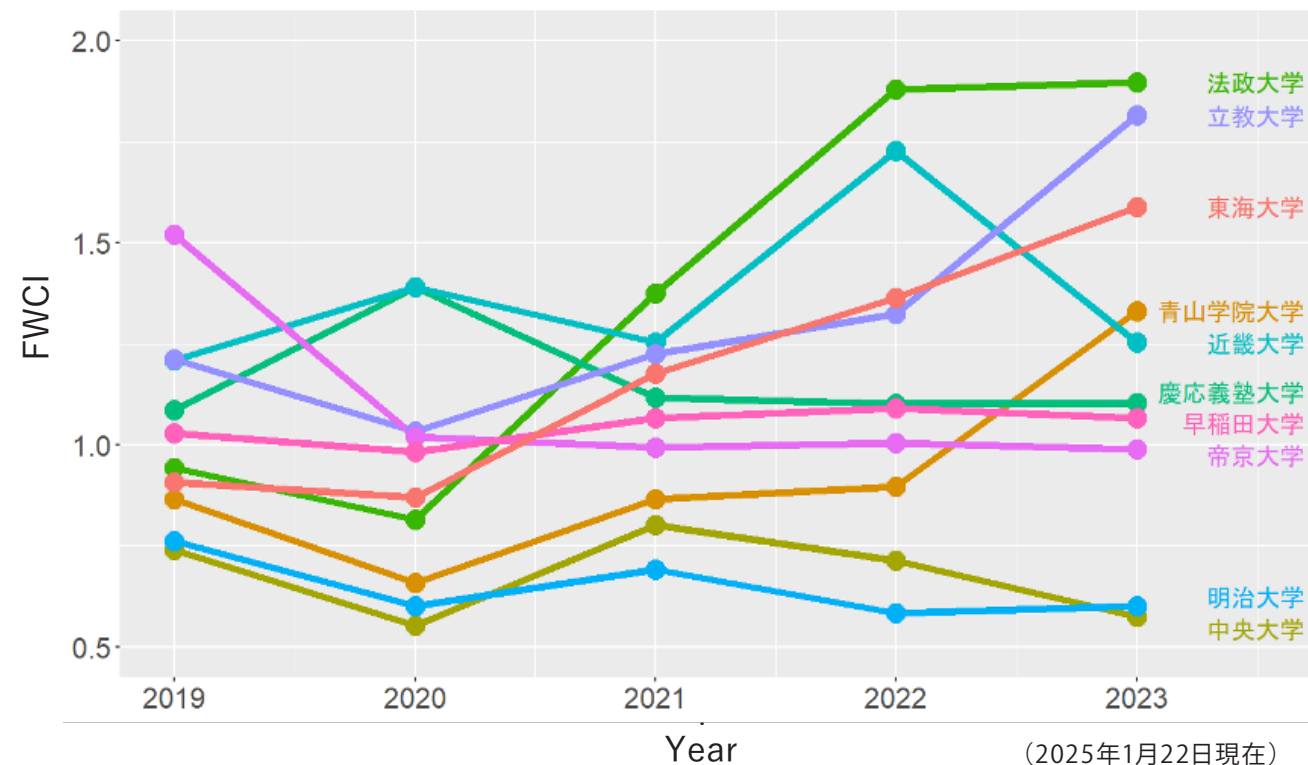
他大学と比較した東海大学の強みの分析

東海大学の研究力の現状について、SciValで集計された研究力の指標を用いて2024年12月号で報告しました。これらの指標については東海大学だけでなく他の大学についても集計することができます。

そこで本レポートでは東海大学の強みを見つけるために、他の大学の研究力との比較を行いました。Field-Weighted Citation Impact (FWCI)の5年間の推移から東海大学の全体的な評価を示し、研究分野ごとのFWCIの中央値から東海大学の強みとなっている研究分野について報告します。比較を行った大学は東京都に本部を置く私立大学群であるMARCH(明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学)と早稲田大学、医学部を有する総合私立大学である帝京大学、近畿大学、慶応義塾大学の9大学としました。研究分野はScopusの文献を引用関係に基づいて約1,500分野に分類されたTopic Cluster(TC)を参照しました。Topic Clusterの詳細については「研究力分析ツールSciValの使い方.pdf」を参照にしてください。

分析対象大学のFWCIの推移の比較(2019~2023年)

東海大学のFWCIの推移は2019年、2020年では世界基準である1を下回っているが(2019年:0.91、2020年:0.87)、2021年から1を上回っています(2021年:1.18、2022年:1.36、2023年:1.59)。文献のインパクトが上昇していることがわかります。他大学と比較すると、同じように2021年からFWCIが上昇傾向である法政大学と立教大学には一歩及ばずではありますが、2023年では10大学中3番目に高い結果となりました。2019年と2023年のFWCIを比較すると1.75倍であり、10大学中2番目に高い結果となりました。このことから、東海大学の文献が世界から注目を受けていることがわかりました。詳細なFWCIの数値については担当者までご連絡ください。



東海大学の強みとなる研究分野の研究力の比較

東海大学のFWCIが比較的に高いことがわかったところで、どのような研究分野の研究で評価を集めていたかを分析しました。5年間(2019年~2023年)の文献をTopic Clusterで分類し、FWCIの中央値を算出しました。東海大学のFWCIの中央値が2以上で文献が5件以上あるTopic Cluster 7分野について、他大学と比較したレーダーチャートを作成しました(上図)。

東海大学はTC0975(持続可能な開発目標、エネルギー

転換、気候変動)やTC0296(神経性食欲不振症、摂食障害、完璧主義)の研究分野に強みがあることがわかりました。他の研究分野についても東海大学のFWCIの中央値が2以上に対して他大学のFWCIの中央値が1前後であり、他大学ではあまり強みとなっていない研究分野が強みとなっていることがわかりました。またTC0131(接続、環境クズネツ曲線、二酸化炭素排出量)については法政大学に少し劣っていますが、文献数が89件ととても多く(法政大学は2件)、評価の高い文献が多くあることがわかりました。詳細なTopic ClusterやFWCIの中央値、文献数については担当者までご連絡ください。